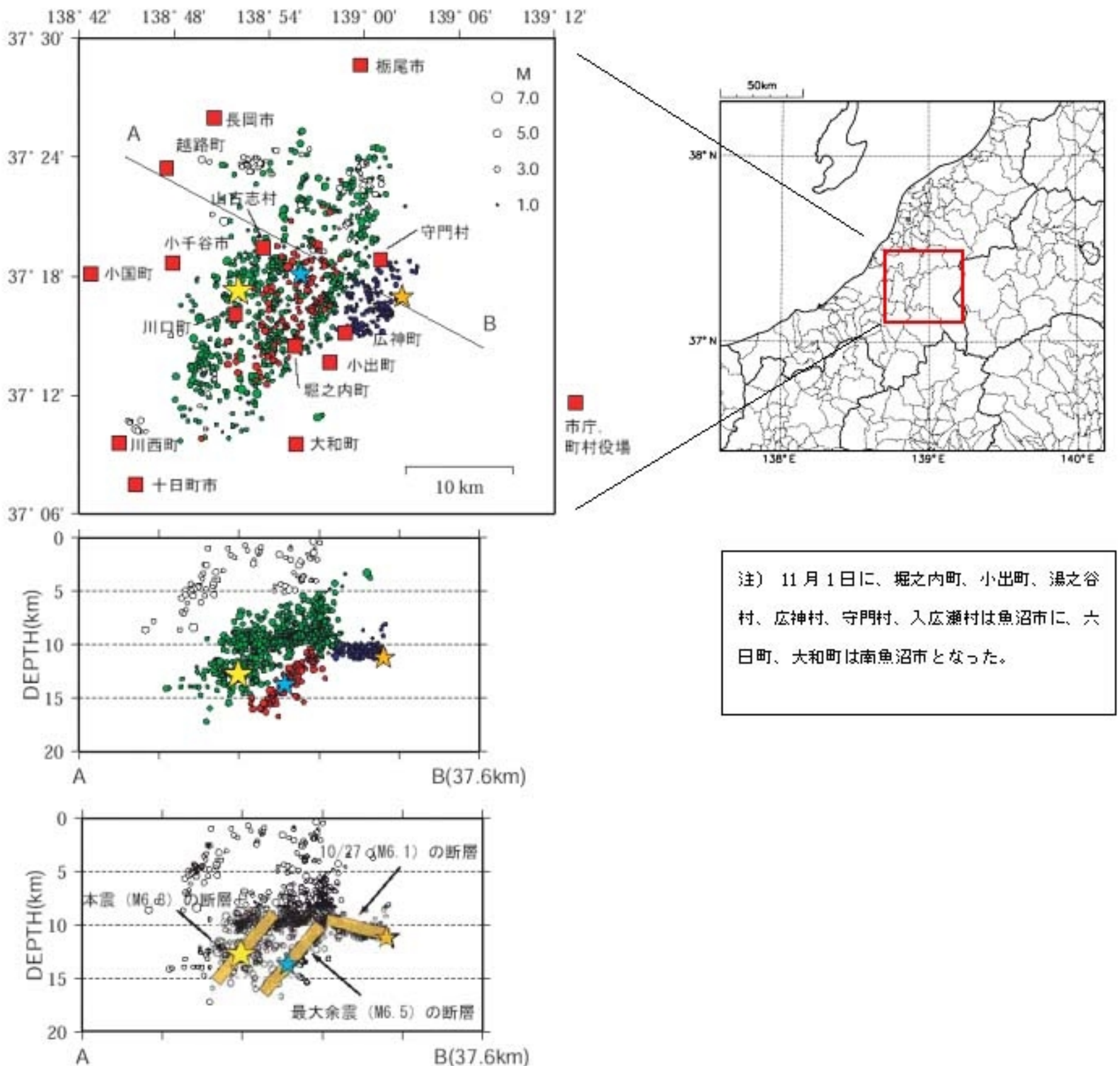


新潟県中越地震で活動した3つの断層について



気象庁の震源データをさらに詳細に解析したところ、今回の新潟県中越地震と一連の余震は、主に3つの断層、すなわち本震 (M6.8) の断層、最大余震 (M6.5) の断層、及び10月27日のM6.1の余震の断層によって起きていることがわかった。複雑な地殻構造の地域であることを反映し、蓄積された歪が主にこれら3つの断層において解放されているため、活発な余震活動になったと考えられる。